

Q ベストミックス推進による補助事業でカバーできない弊害の声は。

都市建設部長 すでに設置されている合併処理浄化槽の埋設場所の環境、劣化状況、地震などの影響によって亀裂や破損で故障する場合、新たな合併処理浄化槽への更新が必要になる。特に笠懸地区においては、浄化槽の河川などの放流先がなく、地下浸透処理をお願いしている中、浸透施設に浸透しなくなるといった課題がある。

丹羽 附帯している設備に関しても、市として補助を。

Q 補助金新設の必要性は。都市建設部長 今後、ベス

トミックスが進行していく中、維持管理が当然出てくる。経営管理、料金の妥当性など今後の課題となる。

丹羽 不公平感がないように手厚い補助を。

Q 市民と協働のまちづくりを推進するには、行政のサポートが必要不可欠であるが。

総務部長 行政と地域が共通理解のもと、地域の発展に向けた取り組みと一緒に進めていくことは、地域コミュニティの活力向上やかかわる職員の資質向上など、さまざまな効果が期待できる。有効な支援制度、地域との連携協力体制の取り組みとして、実施できる事例について検討する。

丹羽 今は周知だけ、補助金の交付だけという感があり、積極的に参加する、もう一步踏み込んだ行政側の支援が必要。人材の発掘など新たな試み、行政側が道筋を示すという考えを。

Q 多世代交流を促進して、魅力ある地域コミュニティをつくり出すことが、自立した地域づくりに必要だが。保健福祉部長 少子高齢化やライフスタイルの変化により、地域課題については複雑化し、個々の対応では対処が難しくなっている。

Q 高齢者介護サービスや障害福祉サービスが、相互乗り入れする施設は、地域共生社会の実現に不可欠で

あるが、支援体制に向けた見解は。

保健福祉部長 複数の福祉サービスが相互で乗り入れている施設は、市内にない。世代間交流など、ソフト面の充実や支援を図り、共生社会の実現に向けていきたい。令和4年度から、重層的支援体制整備事業、福祉の何でも相談を開始し、包括的な支援を実施する。

Q 市民と協働のまちづくりを推進するには行政のサポートが必要不可欠であるが

A 有効な支援制度について検討する